



やすらぎ苑デイサービス

先般実施しました「上津江・中津江地区公共福祉施設整備計画に関するアンケート調査」では、数多くのご意見をいただき有難うございました。

【回答数 196 世帯/304 世帯、回答率 64.5%】

皆様方から頂きましたご意見の詳細につきましては、班回覧を行いますので、そちらもぜひご覧になってください。



令和3年10月15日発行
上津江町の人口と世帯(10/1)
[人口] 702人
[世帯数] 355世帯
[高齢化率] 53.4%
[文責] 上津江振興局長

No.83

公共福祉施設の整備計画(案) ～住民アンケート調査結果の概要～



すぎっ子こども園の子どもたち

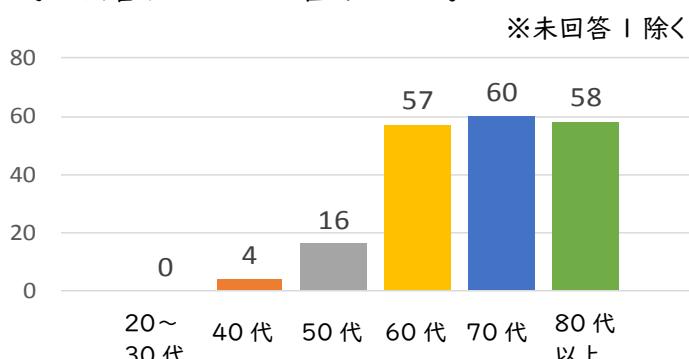
【日田市からのお願い】

今後、アンケート調査の内容を参考にさせていただき、改めて「上津江・中津江地区公共福祉施設整備計画(案)」に関する住民説明会を開催させていただきます。開催日時につきましては、後日お知らせいたします。

回答者の概要

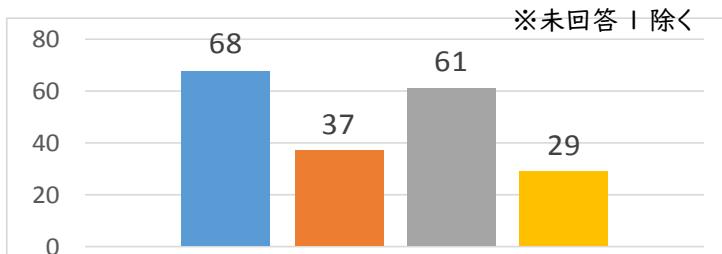
1) 年齢構成

年齢別の回答者数は下図のとおりで、60代以上の方の回答が89.7%を占めました。



2) 自治会別構成

自治会別の回答者数は下図のとおりです。



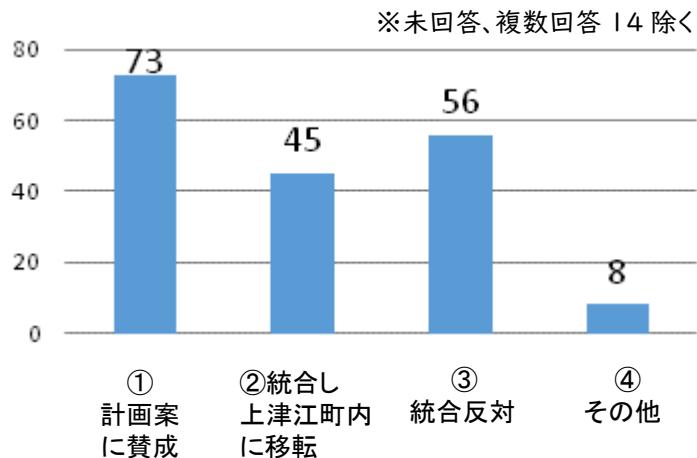
地区名	川原	都留	上野田	雉谷
配布数 (回答率)	93 (73%)	63 (59%)	87 (70%)	61 (48%)

公共福祉施設整備計画に関するアンケート結果（概要）

1 やすらぎ苑と安寿苑を統合して中津江ホール敷地に移転する計画案について



やすらぎ苑



① 計画案に賛成

●速やかな建設

- ・安全などろに速やかに建ててもらいたい。
- ・利用している方や入居している方のことを一番に考え、早急に整備すべきでは。

●財政状況

- ・財政状況や人口動態を考えると2か所は厳しい。
- ・現状維持が厳しいなら学校近くに施設ができ、子どもたちとの交流ができるで良いと思う。

●統合して今以上の福祉サービスを

- ・住民や施設で働く皆さん、専門家の意見を取り入れ、相応の機能を持った施設にしてもらいたい。



やすらぎ苑居住棟

- ・上津江、中津江関係なく安全な場所で今以上の福祉サービスが出来れば最良。

② 統合し上津江町内に移転

●なぜ中津江なのか？

- ・何でも中津江では上津江は滅びてしまう。
- ・統合はいいとしてもなぜ中津江なのか。上津江では、なぜダメなのか。

●現在地がよい

- ・診療所に隣接する形が最良。

●上津江町内の既存施設を活用

- ・上津江振興局を活用することも考えて欲しい。
- ・安全な場所は上津江にもある。現在の建物を出来るだけ利用し、お金は他に廻してほしい。

③ 統合反対

●やすらぎ苑の防災対策を

- ・やすらぎ苑は防災対策が出来ているので、調査等を行い移転の再検討を要する。
- ・防災上、危険区域なら安全確保のために防災工事をすればいいし、福祉サービスはそもそも利益の出るものではない。
- ・災害、危険区域という名目のもとに、住民の意見を無視した市の方的な対策には納得がいかない。

●福祉サービスの低下

- ・統合は福祉サービスにつながらない。地域に分散して行うのが、高齢者の望みである。

④ その他

●住民との十分な対話を

- ・市は町民にきめ細やかな説明責任を果たしていないことが問題。少数であっても住民の気持ちを大切にして、安心して暮らせる市政であってほしい。

2 上津江診療所は町内の安全な場所へ移転予定だが、移転場所はどこがよいか



上津江診療所

① 現在地

●交通の便が良い

- ・現在地は上津江、中津江、小国すべてに交通の便が良い。
- ・高齢者になると日田の病院に行くのもバスの乗り換えが大変になる。現在の場所が良い。

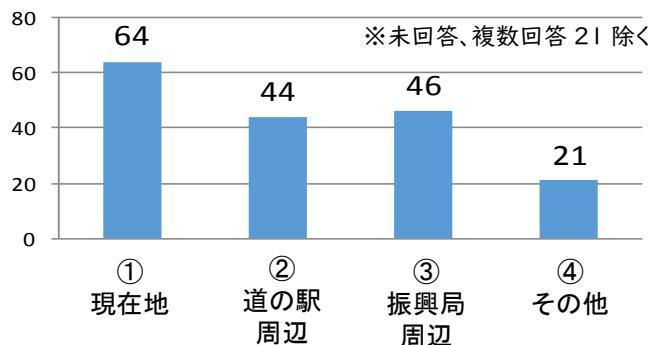
●安全対策を

- ・無駄金は使わず、もう少し防護壁をしっかりとすれば、池ノ山より崩れる心配がない。
- ・現在地を安全な区域にする費用と市営住宅や公共施設を移転整備する費用を出して比較検討すべき。

② 道の駅周辺

●買い物もできる

- ・駐車場もあり、高齢者は買い物も出来る。
- ・道の駅で買い物も出来るし、売り上げにも貢献。



●便利

- ・広川と同じ距離感。上津江では便利の良い所だ。
- ・地形状況、周辺状況を考えたら、ここが良いと思う。
- ・上津江、中津江にとって良い場所と思う。

③ 振興局周辺

●上津江の中心、災害時も都合がよい

- ・上津江体育館が避難所になっているので、医師、看護師が近くにいれば安心。
- ・振興局に用事があるとき一度で済む。

●費用節減

- ・振興局を併合し有効利用することで費用節減になる。

④ その他

- ・減災対策が住民に不安、不平等が残り、安心安全が聞こえない。

3 すいっ子こども園となかつえ保育園を統合して中津江ホール敷地に移転する計画案について

① 賛成

●園児の安全が大事

- ・移転先が安全であれば良いと思う。
- ・子どもが少ないのでしょうがない。安全な所ならよい。

●学校の近くで合理的

- ・小中一貫校の近くであり、保護者にとっても良いこと。
- ・園児の安全が大事であり、保護者も安心できる。
- ・近くに小・中学校があるので送迎も合理的ではと思う。

●複合エリアのメリットがある

- ・子ども数の維持から考えても当然のこと。1つのエリアが複合エリアになることは地域の振興につながる。
- ・保育園、福祉施設、学校もあり、児童・園児のうちから

地域の福祉課題を考えていくことができると思う。

・高齢者が子どもの声を聞き、生活にハリが出ると思う。

② 反対

●施設は上津江に必要

- ・統合には大賛成。しかし施設は上津江に置くべし。
- ・若者が定住するためには絶対必要な施設である。
- ・反対。教育関係がすべてなくなるのはいけない。
- ・町内に残すべき。なくなると益々過疎化が進む。

●送迎が不便・危険

- ・園児が通うのに遠くなり保護者の負担が大きいはず。
- ・上津江のほうが安全だと思う。小さい子どもを乗せて中津江まで行くのは雨風の時に危険だと思う。

道の駅リニューアル プレオープン

11月6日(土) 10:00~

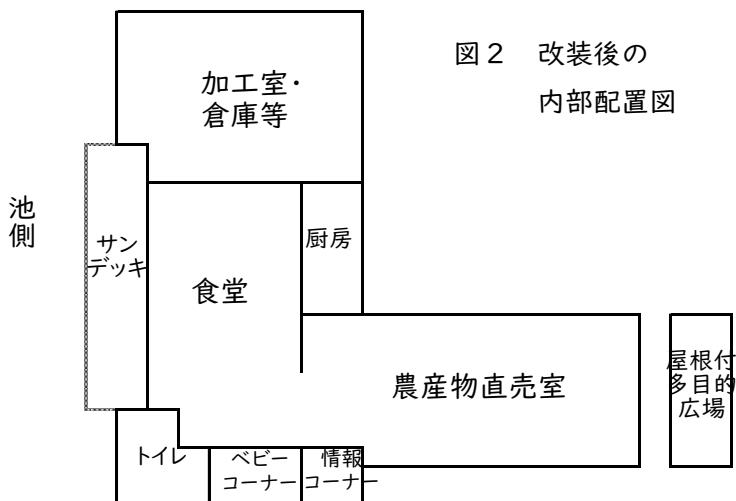


図1 リニューアルイメージ

※外構は現在未完成

道の駅せせらぎ郷かみつえは9月から店内改裝工事のため一時休業していましたが、建築工事が終了したため、プレオープンします。駐車場などの外構は未完成のため、本格オープンはまだ未定ですが、食堂や農産物直売室は営業を開始します。

図2 改装後の
内部配置図



★改装のポイント

- ・食堂と直売室の面積を約1.5倍に拡大
- ・食堂から美しい自然景観を楽しめる
- ・利用者にやさしい屋内トイレの設置
- ・地域住民交流のための屋根付多目的広場を設置
- ・水のせせらぎを楽しめるように旧川原小学校で愛されてきた池を直売室前に「泉水」として設置

プレオープン初日はささやかな記念品を準備しています。
たくさんの方のご来場をお待ちしています！

農産物出品募集！

前日11月5日(金)午後から農産物の出品を受け付けます。たくさんの方の出品をお願いします。



改装工事の様子（10月11日現在）

「水」は癒しを与える～高畠社長のお話～

道の駅せせらぎ郷かみつえも年々利用者が増加してきました。利用者ニーズに対応するため、施設規模を拡大し、整備を行いました。

当駅の特徴は「水」のある空間を楽しめることです。「水のせせらぎ」は人間に癒しを与えてくれます。多くの来場者が池や川に立ち寄ります。

地域住民で運営するのが地域のためになると思っています。「地域住民に愛される拠点」となるように頑張っていきます。



ぜひ道の駅へ遊びにきてください！

水郷テレビ民営化に伴うKCVへの 加入申込書の提出について

10月4日付で日田市情報統計課（水郷テレビ係）から水郷テレビ契約者様宛にKCVへの加入申込書を送付しています。

水郷テレビの運営は、令和4年4月1日からKCVコミュニケーションズに移管されます。そのため、新たにKCVへの加入申込が必要となります。受付期間内の提出をお願いします。

また個別の詳細なお問合せ等については、下記のとおり集中受付を実施しますので、ご利用ください。

■日時 10月21日（木）
午前10時～午後8時まで

■場所 上津江体育館

■持ってくるもの

- ・送付された封筒と同封書類一式
- ・引き落し用口座の通帳
- ・口座届出印

【問合せ】

日田市情報統計課 22-8229

歩くことから始めよう！ ひたむき健活（ウォーキング）事業

ウォーキングで健活に取り組んでみませんか？自分で1日の目標歩数を決め、達成できたら記録表のマスを一つ塗りつぶします。60マスを全部塗りつぶせたら記念品を受け取ることができます。

●申込概要

- ・対象者 市内に住所を有する18歳以上の方
- ・申込期限 11月30日（火）まで
- ・申込場所 ウエルピア、各振興局

●特典

- ・年度内3回までチャレンジ可能（記念品有）
- ・希望される方は保健師や栄養士の健康相談を受けることができます。

【問合せ】総務振興係 55-2011

上津江のできごと (8月下旬～10月上旬)

10/2



すぎっ子こども園となかつえ保園児合同で「つえっこ運動会」が開催された。かけっこやダンス、親子競技などが行われ、かわいらしい姿を披露した。

10/7



上津江グラウンドゴルフの皆さんのが毎年ボランティアで草刈りを行っている。今年度も練習前に上津江グラウンドの草刈りを行い、2時間ほどで広いグラウンドがきれいになった。

10/7



津江小学校3年生5人が社会見学で稲刈りを体験した。松上洋一さん（小平本村）に作業の仕方を教わりながら、手刈り・かけ干しを行い、米について学習した。

職場探訪

第2回

地元企業やそこで働く人を紹介します！

上津江 フィッシングパーク

上津江フィッシングパークは、昭和61年に営業を開始し、平成6年から有限会社かみつえグリーン商事が運営を行っています。山間部の美しい自然と渓流を利用して、魚釣りや宿泊施設、食事処などの運営を行っています。

従業員は常勤3名のほか、繁忙期（4～9月）の休日には地元から15名程度アルバイトを雇用しています。

◆人気の魚釣りと宿泊　～コロナ禍とアウトドアブーム～

一番のメインは魚釣りです。昨年・今年はコロナ禍や天候の影響で入場者が減少しましたが、一昨年は年間入場者数が約22,000人でした。「渓流釣りが楽しかった」「川の水がきれい」などたくさんの利用者に喜ばれています。

また、アウトドアブームでバンガロー等の宿泊も人気です。コロナ禍で団体予約がなくなり、宿泊者は減りましたが、繁忙期の休日は家族連れ等の予約で埋まります。テントサイトも人気で、近年は一人キャンプも増えてきました。

◆兵戸茶屋　～おすすめは山女魚膳～

一番のおすすめメニューは山女魚膳（1,300円）です。注文後、その場で引き上げて塩焼きや天ぷらなどに料理しています。鴨うどん（1,000円）や梅うどん（800円）等も好評です。多い時で一日150人位の注文があります。

◆上津江の自然是日田市の宝　～高畠社長のお話～

上津江の自然は、都会の人にとって癒しの空間であり、日田市の宝です。天然の渓流を利用した施設は珍しく、絶対になくしてはいけない施設だと思っています。園内の施設が老朽化し、管理が難しくなってきましたが、多くの人に親しんでもらえるように頑張っています。



高畠龍之助社長



繁忙期の休日は家族連れてにぎわいます



従業員は事務や釣り場、施設管理まで何でも対応します。



茶屋内はメンバー手作りの和布小物で飾られています。「地元の人にはサービスしますので、お立ち寄りください」と責任者の渡辺よみさん。



退任の ごあいさつ

毛利 一樹



吉の本地区での稲刈り作業

今年の10月で地域おこし協力隊を退任することになりました。

一昨年の3月から活動を始めて2年8ヶ月間、耕作放棄地の対策に関する活動を行ってきました。活動の内容は水稻栽培や有害鳥獣対策、キャベツやきゅうりの栽培等を行ってきました。

始めの頃は何もできませんでしたが、いろいろなことに挑戦して少しづつ出来ることが増えてきたのかなと思います。

自分の行ってきた活動が少しでも耕作放棄地の対策に繋がっていれば幸いです。

退任してからはエノキ栽培の研修を妻と一緒に使う予定です。出来るだけ早く一人前になれるように頑張っていきたいです。そして今後も耕作放棄地に関する活動が少しでも出来ればいいなと思います。長い間お世話になり、ありがとうございました。

燈和会から 配達弁当一時休業のお知らせ

厨房改装のため、下記のとおり一時休業します。なお、特注弁当（鉢盛・仕出し弁当）等は1週間前までのご予約で承ります。

■一時休業期間

令和4年1月7日（金）まで

■問合せ

どうわ食堂 55-2750

【上津江振興局職員紹介】

10月1日付異動で職員が着任しました。

【総務振興係】

主幹 吉野 英治

環境・統計担当



《原材料支給のお知らせ》

林道・作業道補修用

林道や作業道のうち、急勾配箇所や路面洗掘の著しい箇所等に生コンクリートや碎石、目地材の資材を提供しています。

【支給要件】

- ・受益者2名以上であること
- ・幅員が2.5m以上あること
- ・地元施工で路面補修を行うこと。
- ・1路線30m程度を限度とする。

農地および農業用施設整備用

農地や農業用施設（農道・水路）の維持管理にかかる農家負担を軽減するため、生コンクリート等の資材を提供しています。

【支給要件】

- ・農地は現に耕作している土地、またはいつでも耕作しうる状態の土地であること。
- ・農業用施設は農地の利用に必要な公共的施設である道路及び水路であること。
- ・農道の場合、幅員が2.0m以上であること。支給は1箇所当たり50m程度を限度とする。
- ・農地、農業用施設共に受益者が2名以上であること。

【支給する材料】

生コンクリート、目地材、碎石、盛土材、法面保護材、コンクリート2次製品、農業用水管等

※予算に限りがあります。提供を希望される場合は早めに産業建設係（電話：55-2011）までご相談ください。

丑年生まれのペンリレー

年男・年女の方に思うことを書いてもらうコーナーです。丑年の皆さん、原稿お待ちしています！

もう1回は年男を

豆生野 高木 孝一さん

1949年10月17日に生を受けて今年で72歳になりました。この年齢になると若かりし頃の思い出を昨日の様に鮮明に思い出す事が多くなりました。

大分市鶴崎で特殊技能を習得し、横浜市の会社に就職しましたが、この地は京浜工業地帯の中心地でばい煙が多く飛散し、昼間でも太陽が見えない日もありました。その様な環境の中でも野球部に所属していましたので、昼休みは毎日1km走りキャッチボールで費やし、食事時間は10分程度でしたが、今から思えば青春時代の良き思い出です。

その後、昭和50年に帰郷し現在に至りますが、50数年間のサラリーマン生活での生活習慣が体に染み込んでおり、午後5時を過ぎると気力体力が無くなります。

さて、先日の報道で男性の平均寿命が 81.64 才と発表がありました。地域も限界集落となり寂しい限りですが、今日という日は二度と無いと思い、一日一日を大事にして、もう一回位は年男を迎えたらいいなと思いつつ、寝酒の焼酎をたしなみながら考えているこの頃です。



過去に学び 未来に繋ぐ

小平本村
松上 洋一さん

上津江に帰って来て10年が経ちました。

帰郷までは、お盆、正月しか帰っておらず、土地勘も分からぬ状態で、自治会役員を皮切りに色々な方と接する中で徐々に地名や人を知ることになりました。又、農業という私の中では新分野の仕事を選択し、最初は中々思う様に行かず、周りの方に助けられて一喜一憂の毎日を過ごしていた事を思い出します。



気丈だった祖父が、『家を頼む』と、天国に旅立ち30年。家を守るとは地域を守る事なのかと考え、農業という業務の観点から、上津江野菜を多くの方に知ってもらい、町が潤って欲しいと思っています。人口の減少、高齢化等、さまざまな問題が山積みですが過去に学び、未来に繋ぐ事で、この町の文化と誇りを守って行きたいです。



東雉谷 都崎 梓さん



つえエーピーに今年4月に入社した都崎梓さんに話を聞きました。

—入社のきっかけは？

地元で働いて一人暮らしの祖母と暮らしたいと思っていて、ここの求人を見つけました。

—どんな仕事をしていますか？

製品課に移ったばかりでゆずやとうがらしのペーストの混合や充填をしています。葉わさびの新商品開発チームにも入っています。

—仕事で楽しいことは何ですか？

分からないこともすぐ聞けるし、みんな優しくて話しやすいです。

—これから頑張りたいことは何ですか？

地元の食材を生かした商品開発ができたらいいなと思っています。

人権講演会を開催します！

上津江出身の元ボリ（ボリス）口演家のすぎちゃん（井上杉夫さん）が身近な人権や男女共同参画について、笑いをまじえてお話しします。

■日時 10月27日 午後7時から

■会場 上津江振興局

■演題 上津江の今を未来につなげるために
■問合せ 総務振興係
55-2011